

最後に…



この写真の動物たちは、マイクロチップ装着や他の飼い主証明がされておらず、飼い主がわからないまま、動物愛護センターに収容された犬や猫たちです。

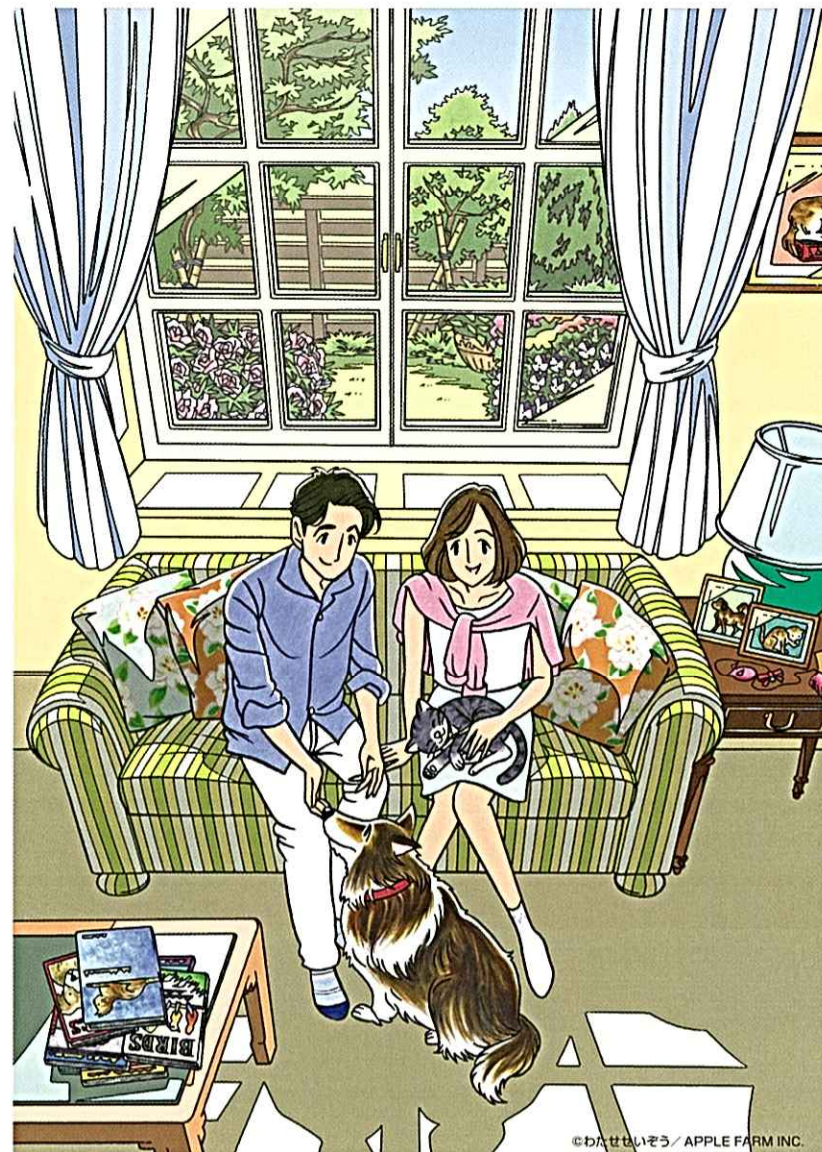


マイクロチップ装着は、ペットへの変わらぬ**愛情の印**です！話すことができないペットにとって、マイクロチップは、飼い主さんとのかけがえのない絆となります。また、自分が飼い主であることをはっきりとさせ、**そのペットに責任を持つという宣言**をすることにもなります。家に帰りたくても帰れない子たちをなくすために、また災害時対策のためにも、飼っているペットとの絆をつくるマイクロチップを装着しましょう！



マイクロチップ装着について

～ペットとの絆づくりのために～



©わたせいぞろ / APPLE FARM INC.

マイクロチップを装着しよう!

マイクロチップとは……

犬や猫など動物の「**個体識別**」をするためのものです。

マイクロチップ(MC)は、直径約2mm・長さ約8~12mmの円筒形のガラスのカプセルで包まれた小さな電子標識器具です。

「個体識別」はなぜ必要か?

各自治体の保健所や動物愛護センターには、たくさんの飼い主の分からない犬や猫が収容され、その多くが家に帰ることができないまま、殺処分されている現状があります。また、「飼っている犬、猫がいなくなった」との相談も毎日のように寄せられています。

もし、「室内で飼っているから大丈夫」、「今まで逃げたことがないから」と考えていたら要注意です! 雷や花火の音でパニックを起こして逃げ出したり、ちょっとした油断で放れてしまったりと、日常生活でも迷子になってしまう可能性は十分あります。

このような時に役に立つのが、ペットの「**個体識別**」=飼い主証明(マイクロチップ装着等)です。つまり、マイクロチップの装着は、話すことができないペットにとって、**飼い主さんとのかけがえのない絆**となります。



首輪があってもマイクロチップ装着等の飼い主さん情報がありません



自分の住所や氏名を話すことができないため、飼い主さんの迎えを信じて待っています



首輪と鈴だけでは、飼い主さんが誰か特定することはできません

マイクロチップ



マイクロチップを入れるメリットは?

- 「迷子」になっても、保護された時に身元がすぐに確認できます!
- 「盗難」にあった場合も、確実な身元証明に!
- 「地震」などの災害ではぐれたとしても、飼い主のもとに戻る可能性が高くなります!
- 「猫の場合」は狂犬病予防法で注射や登録が義務づけられていないため、飼い主さんがしてあげられる、数少ない「飼い主証明」です!

あなたのペット唯一のマイクロチップ番号をリーダーで読み取り、身元を特定します。

リーダー(読み取り機)



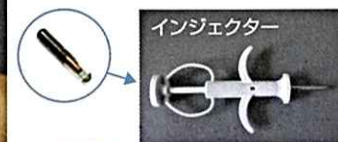
主に、自治体の保健所や動物愛護センター、動物病院に置いてあります



マイクロチップはどのように入れる?

- ① 専用のインジェクター(チップ注入器)で皮下に埋め込みます。
- ② 装着場所は、犬や猫の場合では、首の後ろが一般的です。
- ③ 犬は生後2週齢、猫は生後4週齢頃から装着できます。
- ④ 装着は、獣医療行為となり、必ず獣医師が行います。
- ⑤ 費用(施術費)など、詳しくは、お近くの動物病院にご相談を。

マイクロチップ以外の飼い主証明も忘れずに!



インジェクター

犬の「鑑札」や「狂犬病予防注射済票」の装着は、法律で定められた飼い主の必須義務です!

データ登録を忘れずに!

- マイクロチップを装着したら、【日本獣医師会(AIPO事務局)】へのデータ登録が必要です。
- データ登録用紙に飼い主さんの氏名や住所、電話番号などを記入し、【日本獣医師会(AIPO(アイボ)事務局)】に郵送します。

問い合わせ先: TEL 03-3475-1695 【日本獣医師会(AIPO(アイボ)事務局)】